

平成29・30・31年度 物品役務等競争入札参加資格審査申請に係るQ&A

No.	区分	よくあるお問合せ	回 答	手引き
1	申請全般	平成26・27・28年度の入札参加資格審査申請との変更点は何ですか？	<p>前回申請との変更点は、下記のとおりです。</p> <p>◆契約書に使用する印鑑については、法人、個人とも登録印のみとしておりましたが、今回の定期受付より、任意の印鑑を使用してよいこととしました。（申請時に、別紙「使用印鑑届」の提出が必要。年間委任のみの場合は、改めて提出する必要はありません。）</p> <p>◆提出書類は、すべてA4サイズ（原本がA4でない場合は、A4に変倍）で作成してください。</p>	※11
2	申請全般	書類の間違いには、どのようなものがありますか？	<p>よくある間違いは、下記のとおりです。</p> <p>◆申請書代表者印の押し忘れ ⇒Q&A No.3参照</p> <p>◆登録希望業種の許認可証の不足 ⇒『登録希望にあたる関係許可・認可等』，Q&A No.5・6を参照</p> <p>◆財務諸表の不足 ⇒直近2年分必要です。1年分しか提出が無いことがあります。</p> <p>◆納税証明書の不足・様式の誤り ⇒茨城県内に支店等がある場合、納税義務の有無にかかわらず、県税の納税証明書（様式第40号の4（イ））を提出してください。 ⇒常陸太田市内に支店等がある場合も同様に市税納税証明書（滞納がないことの証明書）を提出ください。）</p>	
3	一般競争（指名競争）参加資格審査申請書（様式第91号その3）	申請書に押印する印鑑は？	法人の場合は法務局に登記済みの代表者印を、個人の場合は実印（役所に印鑑登録されている印）を押印してください。なお、印鑑証明書の添付の必要はありません。	※1
4	取扱品目表（様式第1号） 取扱業務表（様式第2号）	営業品目がどの業種に該当するか分からない場合は？	<p>大分類，小分類の順に確認し，近い項目を選択してください。近い項目が無い場合は，『その他』を選択してください。</p> <p>複数の項目に該当する場合は，複数を選択していただいても差し支えございません。</p> <p>例：顕微鏡の販売 ○ 5 2 4 教材 ○ 5 7 1 理化学機器</p>	※2

平成29・30・31年度 物品役務等競争入札参加資格審査申請に係るQ&A

No.	区分	よくあるお問合せ	回 答	手引き
5	登録証明書	希望業種について『登録希望にあたる関係許可・認可等』を確認すると個人が取得している資格があるのですが、全員分の写しを提出するようですか？	いいえ。個人が有する資格等については、代表者（又は主任者）の資格証等の写しをご提出ください。	※3
6	登録証明書	『登録希望にあたる関係許可・認可等』の（該当業種のみ）と書かれている許可・認可についてはどのような場合、提出するのでしょうか？	いいえ。希望業種の業務の詳細欄には、許可を必要とする業務と許可を必要としない業務が混在しており、このような場合、（該当業種のみ）と表記しています。よって、希望する業務の内容が、許可を必要とする業務の場合は必ず提出してください。 許認可証等の提出が無い場合、許認可を必要とする業務委託を請け負うことはできなくなります。 例：732 下水道処理施設維持管理 ・下水道処理施設運転管理を希望 ⇒下水道処理施設維持管理業者登録を提出 ・管路内TVカメラ調査を希望 ⇒許認可証不要	※3
7	財務諸表	昨年、合併したため、財務諸表が1期しか提出できません。どのようにすればよいですか？	合併前のそれぞれの会社の財務諸表と合併後の財務諸表を1期づつ提出してください。 また、合併協定書等を併せて提出してください。	※4
8	身分証明書の写し	身分証明書はどこで取れますか？	申請する方の本籍地の市（区）町村で交付してもらえます。	※5
9	販売実績書（様式第3号） 業務実績書（様式第4号）	販売実績書（業務実績書）の代わりに自社で作成した実績書を提出してもよいですか？	申請者自らが作成した実績書で本市様式の内容を全て満たしている場合は、本市様式に代えて提出しても差し支えありません。	※6
10	販売実績書（様式第3号） 業務実績書（様式第4号）	実績が無い場合は、提出しなくてもよいですか？	実績が無い場合も「実績なし」と記載のうえ、提出してください。なお、官公庁との契約実績が無い場合でも、その他の契約実績を支障が無い範囲で記載してください。	※6
11	販売実績書（様式第3号） 業務実績書（様式第4号）	実績件数が多いため、書ききれません。どのようにすればよいですか？	すべてを記載する必要はありません。主な実績を記載してください。なお、業者を選定する際の重要な資料となりますので、納入物品や業務内容が特定できるように記入してください。 例：販売（×）○A機器、家電製品、化学工業薬品 （○）コピー複合機、液晶テレビ、苛性ソーダ 業務（×）各種空調設備保守管理、各種行政計画策定業務 （○）ボイラー設備保守管理、●●市総合計画策定業務	※6

平成29・30・31年度 物品役務等競争入札参加資格審査申請に係るQ&A

No.	区分	よくあるお問合せ	回 答	手引き
12	技術者経歴書（別記様式2）	技術者経歴書の代わりに自社で作成した技術者名簿を提出してもよいですか？	申請者自らが作成している技術者名簿で本市様式の内容を全て満たしている場合は、本市様式に代えて提出しても差し支えありません。	※7
13	国税・県税・市税納税証明書	コピーでも良いですか？	鮮明なものに限り、コピーを提出しても差し支えありません。	※8
14	県税・市税納税証明書	茨城県内（常陸太田市内）に納税義務の無い営業所がありますが、県税（市税）の納税証明書は必要ですか。	未納の無い証明ですので、納税義務の有無に関わらず提出してください。	※8
15	年間委任状	支店（営業所）に年間委任を行いたいのですが、どのような書類を提出すればよいですか？	前回の定期受付より取り扱いを開始しました。年間委任を希望する場合は、『資格審査処理表 4 委任先の内容』をご記入し、委任状を提出ください。	※10
16	官製はがき	白紙で提出してよろしいですか？	表面に申請者の宛先を記載し、裏面は白紙で提出してください。	※13
17	資格審査処理表	職員数には、代表者を含めるのでしょうか？	法人の場合、代表者は除いてください。個人事業者の場合は、含めて記入ください。	※14
18	資格審査処理表	職員数には、パートや臨時職員も含めてよいのでしょうか。	パートや臨時職員は含みません。	※14

注1) 手引き欄の※は「平成29・30・31年度 物品納入・役務の提供・印刷製本等競争入札参加資格審査申請の手引き」の「6 申請書の記載要領及び添付資料」の該当箇所を示しています。